

news release

マニユライフ生命保険株式会社

マニユライフ生命保険株式会社 社長人事のお知らせ

マニユライフ生命保険株式会社 (以下「マニユライフ生命」) (取締役代表執行役社長兼 CEO: ジェフ・クリックメイ) は、現社長兼 CEO であるジェフ・クリックメイの退任に伴う社長人事として、2007年12月29日付でのクレイグ・ブロムリーの同社取締役代表執行役社長兼 CEO への就任を決定しました。ジェフ・クリックメイは、今回のマニユライフ生命取締役代表執行役社長兼 CEO 職退任を機に、37年の長きにわたり勤務したマニユライフ・ファイナンシャルを勇退します。

現在、クレイグ・ブロムリーは、マニユライフ生命の取締役および執行役の職にあり、デピュティ・プレジデント、CFO、CRO を兼務しています。ブロムリーは、2000年3月に、マニユライフ生命の親会社であるカナダのマニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションに入社、その後、ビジネス・ディベロプメント&インベスター・リレーションズ (BD&IR) 担当 SVP をはじめ数々の要職を歴任してまいりました。BD&IR 担当 SVP 在任中には、合併・買収事業の統括責任者として、第百生命保険相互会社の保険契約等の包括移転、ジョン・ハンコック・フィナンシャル・サービスとの合併をはじめとする数々の事業提携案件を推進しました。

マニユライフ・ファイナンシャルのドミニク・ダレッサンドロ社長兼CEOは次のように述べています。

「ジェフ・クリックメイの指揮の下で、マニユライフ生命が、近年顕著な事業拡大を遂げてきたことを大変嬉しく思っています。また、厚い経営層の人材のおかげで、クレイグ・ブロムリー新社長兼CEOのリーダーシップの下、マニユライフ生命が引き続き成長を続け成功を収めていけるという非常に強い確信をもって、このような重要な人事を実施できることは本当に喜ばしい限りです」

クレイグ・ブロムリーは次のように語っています。

「世界各地のノウハウ・経験を有効活用できるなど数多くの強みを持つマニユライフのような企業にとって、日本市場は大いなる可能性を秘めた市場です。このたび、マニユライフ生命の社長兼CEOに就任することとなり、嬉しさと同時にその重責に身が引き締まる思いです。今後とも、この世界第二位の経済大国において、収益性を兼ね備えた事業成長を持続させていくために、全力で取り組んで参ります」

また、ジェフ・クリックメイは次のように述べています。

「近年マニユライフ生命が達成してきた事業成果、そして、世界におけるマニユライフ・ファイナンシャルの長い成功の歴史、私は、そのいずれをも大変誇りに思っています。マニユライフは世界でも最も素晴らしい生命保険会社のひとつであると確信しています。マニユライフにあって過ごした日々は本当に楽しく充実したものでした。社内外を問わずマニユライフと関わりをお持ちのすべての皆様の今後のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします」

2007年12月29日付

新職	旧職	氏名
取締役代表執行役社長兼 CEO	取締役執行役兼 デピュティ・プレジデント兼 CFO	クレイグ・ブロムリー

<http://www.manulife.co.jp>

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています(2007年11月末現在)。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2007年9月30日現在3,990億カナダドル(4,005億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)